

# 市の財政状況

市の予算は、「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つの会計からなっています。  
 一般会計・・・市が行う仕事の中心となる部分の会計です。  
 学校の校舎改修やごみの収集、福祉サービスの提供などさまざまな目的に使われていて、市税などが主な財源となっています。  
 特別会計・・・特定の収入（保険料や使用料など）で、その仕事の支出を賄う会計です。  
 介護保険事業や国民健康保険事業などがこれに該当します。  
 企業会計・・・その仕事自体に収益（使用料）があり、その収益で支出を賄う独立採算制の会計です。水道事業などがこれに該当します。  
 形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額です。  
 実質収支・・・前記の形式収支から翌年度へ繰越すべき財源を控除した額です。  
 ※ 翌年度へ繰越すべき財源とは、次年度へ繰越した事業の収入済（負担金等）の財源と一般財源分の合計額を言います。

## 都城市公告第238号

都城市財政状況の公表に関する条例の定めるところにより、前年度の決算状況及び平成30年4月1日から平成30年9月30日までの財政状況を次のとおり公表します。

平成30年12月1日

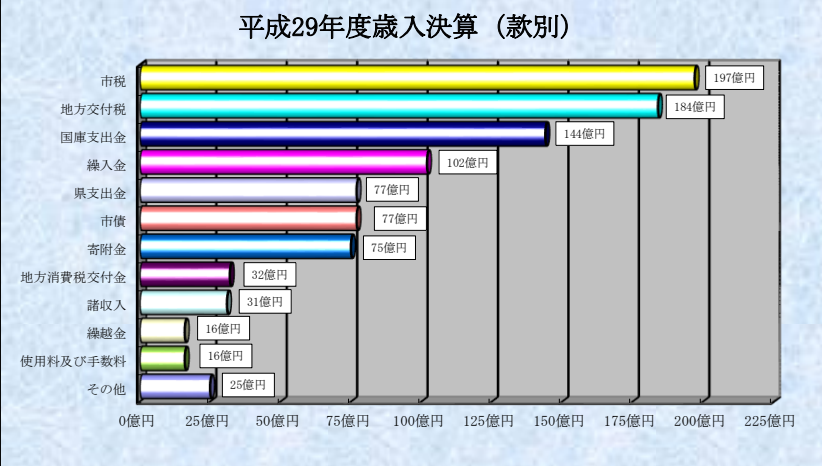
都城市長 池田 宜永

### 平成29年度 一般会計歳入歳出決算

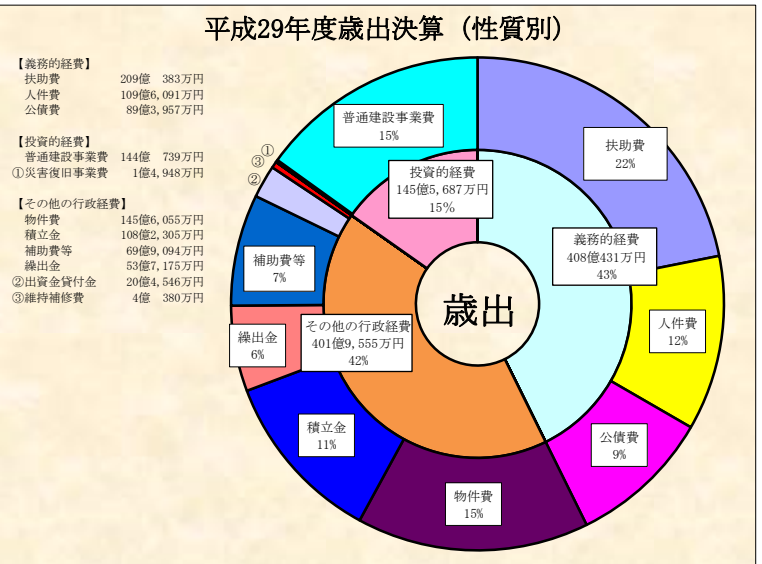
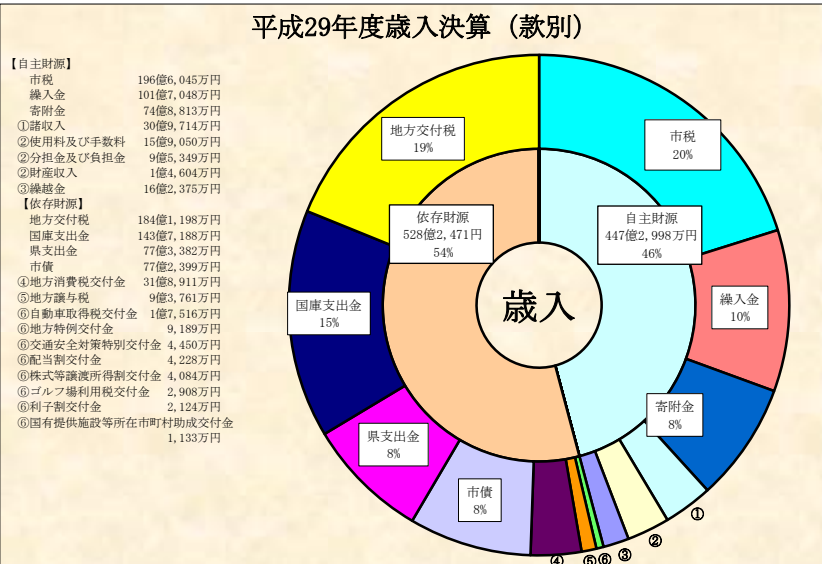
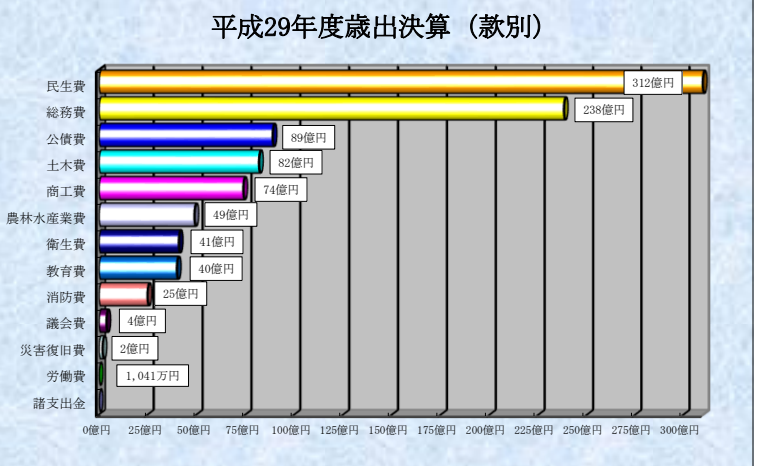
歳入決算総額 975億5,469万円 歳出決算総額 955億5,673万円

形式収支で19億9,796万円の黒字、実質収支では13億3,896万円の黒字決算となりました。

#### 歳入



#### 歳出



#### 【主な用語の説明】

- 歳入
- 【自主財源】・・・地方公共団体が自主的に収入する財源
  - 市税・・・個人・法人市民税、固定資産税、軽自動車税等
  - 繰入金・・・一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互にやりとりする資金
  - 【依存財源】・・・国、県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入
  - 地方交付税・・・国税のうち所得税・法人税・酒税・消費税の一定割合及び地方人税の全額を、一定の基準により国が交付する税
  - 国庫支出金・・・特定目的事業の財源となる国の補助金等

- 歳出（款）
- 民生費・・・高齢者、障がい者、児童等の福祉全般の事業経費
  - 総務費・・・選挙、戸籍、徴税、市庁舎管理等の経費
  - 公債費・・・市債を返済するための経費
  - 土木費・・・道路、公園整備、住宅管理等の経費
  - 教育費・・・教育、文化財保護、スポーツ振興等の経費
  - 衛生費・・・清掃、保健衛生等の経費
  - 商工費・・・商工業、観光振興等の経費
  - 農林水産業費・・・農業振興、林業振興等の経費
  - 消防費・・・消防事務、消防団活動等の経費
  - 議会費・・・議会の活動等の経費

- 歳出（性質）
- 扶助費・・・生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等に基づき支給する経費
  - 人件費・・・議員の報酬、特別職・一般職員の給料・手当・共済費等
  - 公債費・・・市債を返済するための経費
  - 物件費・・・物品購入、光熱水費等公共料金、使用料、旅費、交際費、委託料、臨時職員賃金等
  - 繰越金・・・一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互にやりとりする資金
  - 補助費等・・・自動車重量税、負担金、補助金、国・県への返還金等
  - 普通建設事業費・・・道路、橋りょう、学校等の公共用又は公用施設の建設経費
  - 災害復旧事業費・・・大雨、暴風、地震等の災害により被災した施設の復旧のための経費

#### 平成29年度一般会計決算における

民生費のうち65歳以上高齢者一人当りの老人福祉費	124,269円	市民一人当りの議会費	2,336円
衛生費のうち市民一人当りの清掃費（ごみ処理・し尿処理）	12,381円	市民一人当りの消防費	15,296円
農林水産業費のうち農家1戸当りの農業費	700,817円	市民一人当りの戸籍住民基本台帳費	4,211円
土木費のうち市民一人当りの道路橋りょう費	22,843円	市民一人当りの負担額（市民税・固定資産税等）	121,597円
土木費のうち市民一人当りの公園費	12,072円	地方交付税の市民一人当りの交付額	113,876円
教育費のうち小学生一人当りの小学校費	77,002円	市民一人当りの市債残高	477,986円
教育費のうち中学生一人当りの中学校費	109,572円	市民一人当りの交付税措置後の市債実質負担額	119,922円

この算出に用いた人口等は、国勢調査に基づく平成30年4月1日現在の推計人口（161,685人）、平成30年4月1日現在の65歳以上の住民基本台帳人口（50,010人）、2015世界農業センサスの農家数（6,581戸）、平成30年5月1日現在の学校基本調査の児童数（9,624人）、生徒数（4,413人）です。

#### 平成29年度 特別会計決算

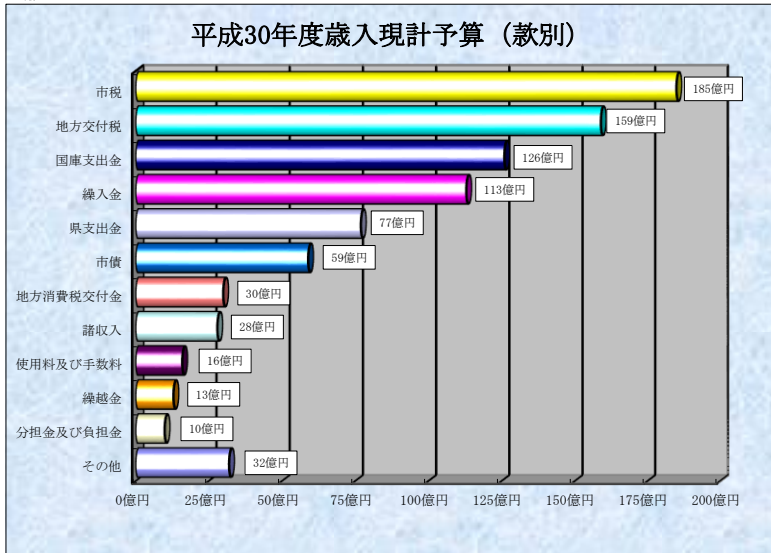
食肉センター特別会計	収入済額 9,615万円 支出済額 9,615万円 差引残額 0万円	国民健康保険特別会計	収入済額 233億3,755万円 支出済額 229億408万円 差引残額 4億3,347万円	後期高齢者医療特別会計	収入済額 20億7,348万円 支出済額 20億6,777万円 差引残額 571万円	公設地方卸売市場事業特別会計	収入済額 7,964万円 支出済額 7,964万円 差引残額 0万円
整備墓地特別会計	収入済額 3,014万円 支出済額 3,014万円 差引残額 0万円	工業用地造成事業特別会計	収入済額 5,560万円 支出済額 5,555万円 差引残額 5万円	介護保険特別会計	収入済額 174億6,659万円 支出済額 169億8,749万円 差引残額 4億7,910万円	御池簡易水道事業特別会計	収入済額 8,269万円 支出済額 8,269万円 差引残額 0万円
簡易水道事業特別会計	収入済額 4億9,291万円 支出済額 4億9,272万円 差引残額 19万円	電気事業特別会計	収入済額 2億2,692万円 支出済額 2億1,747万円 差引残額 945万円				

平成30年度 現計予算

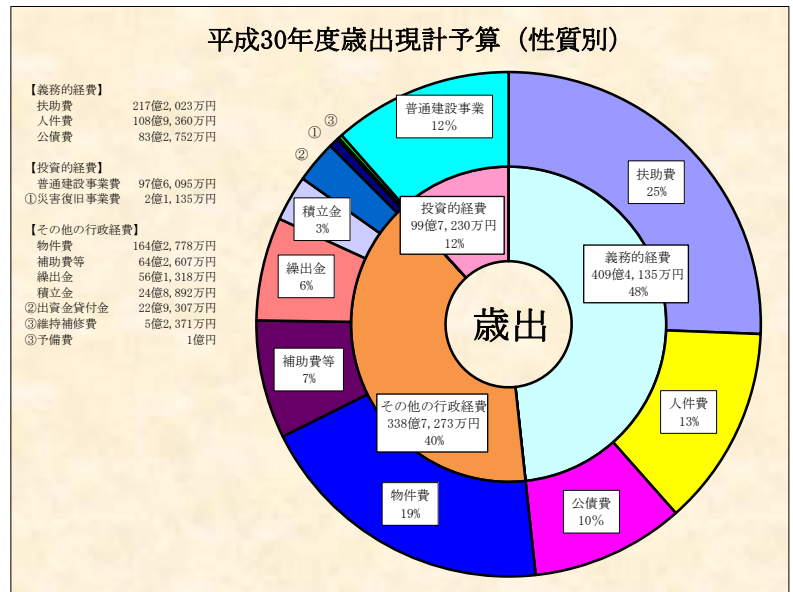
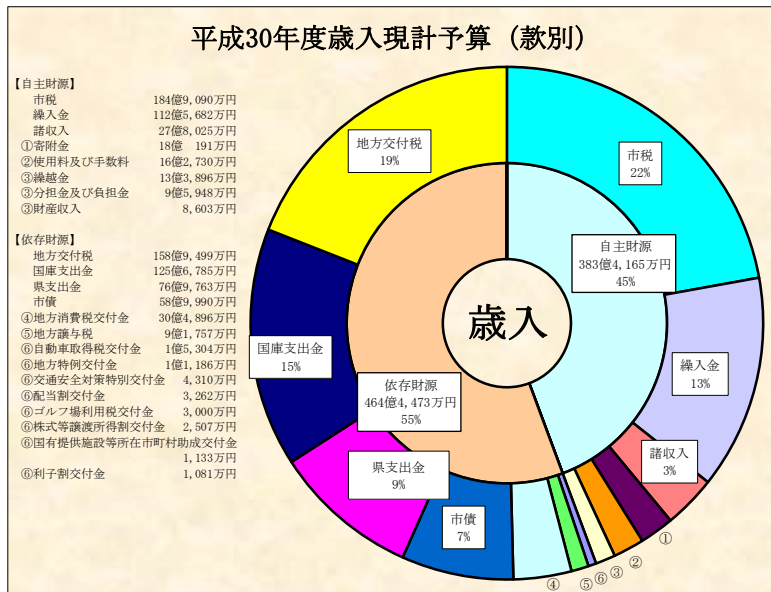
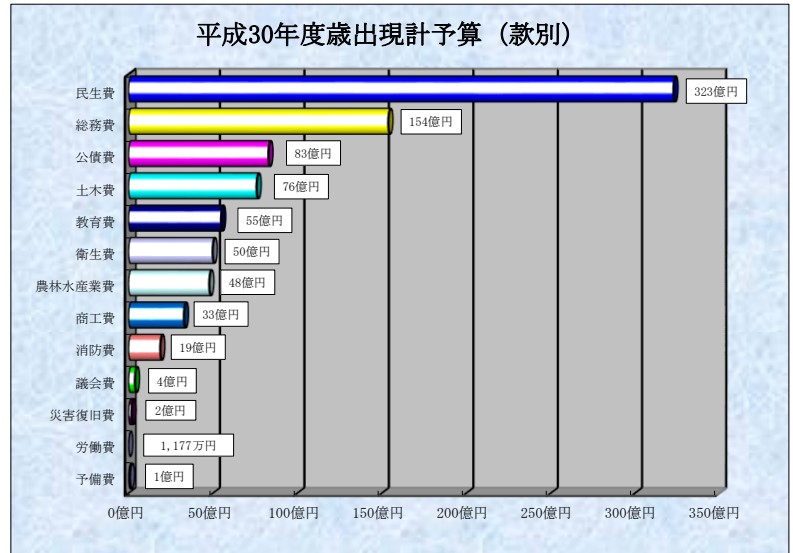
一般会計 847億8,638万円

当初予算額は、786億3,000万円でしたが、その後、9月補正(第3号)までで現計予算はこのようになりました。

歳入



歳出



特別会計 437億106万円

食肉センター特別会計	1億 117万円	国民健康保険特別会計	204億 255万円	後期高齢者医療特別会計	21億6,161万円	公設地方卸売市場事業特別会計	2,804万円	整備墓地特別会計	3,255万円
工業用地造成事業特別会計	7億 723万円	介護保険特別会計	189億 828万円	御池簡易水道事業特別会計	1億3,990万円	簡易水道事業特別会計	11億5,783万円	電気事業特別会計	6,191万円

一時借入金の状況

平成30年9月30日時点で、平成30年度会計に対する一時借入金はありません。

平成29年度一般会計決算を月々20万円の収入のある家計におきかえると・・・

○収入

項目	金額
給料	うち基本給(市税等) 76,918円
	うち諸手当(国庫支出金、地方交付税等) 83,067円
前月からの繰越金(繰越金)	3,329円
預金の取り崩し(繰入金)	20,851円
ローン借入れ(市債)	15,835円
合計	200,000円

○支出

項目	金額
食費(人件費)	22,471円
医療費・保育料(扶助費)	42,856円
光熱水費、日用雑貨等(物件費)	29,851円
家の修理、家電製品の購入等(投資的経費、維持補修費)	30,671円
子どもへの仕送り等(繰出金、貸付金、補助費等)	29,539円
住宅ローン返済(公債費)	18,327円
預金(積立金)	22,189円
合計	195,904円

平成29年度末市債残高

会計名	現在高	交付税措置額	実質負担額
一般会計	743億717万円	576億6,441万円	166億4,276万円
食肉センター	3億2,473万円	0万円	3億2,473万円
公設地方卸売市場事業	4,763万円	0万円	4,763万円
整備墓地	1億3,898万円	0万円	1億3,898万円
工業用地造成事業	1億1,066万円	0万円	1億1,066万円
御池簡易水道事業	3億7,080万円	6,847万円	3億2,233万円
簡易水道事業	15億1,585万円	1億6,071万円	13億5,514万円
電気事業	4億6,732万円	0万円	4億6,732万円
合計	772億8,314万円	578億9,359万円	193億8,955万円